

定義古道を歩こう



定義古道

昔、仙台八幡町から定義如来への参拝道として使われていた道です。

今も古道の面影を残す、滝ノ上から定義を目指します。29名の参加者とともに、紅葉始まる里山をゆっくりと楽しみながら歩きました。



山歩きの際の注意事項を早坂今朝美さんよりお話しいただきました。歩き出しはゆっくりと滝ノ上から山の中へ



木々の間を抜けて、眼下に大倉ダムが見下ろせる滝上峠や定義如来が見える定義峠を通り、定義に到着。



昼食休憩の定義では、お買い物も楽しみ、紅葉と五重塔もきれいでした。帰りは溪谷沿いを歩きました。秋の山野草もみられ、気持ちのいい1日となりました。季節ごと、違った顔を見せてくれる里山「定義古道」。是非、またお越しください。